

【13】平成29年度 大学院シラバス

<p>専攻分野/コース (英文名)</p>	<p>内科学(呼吸器内科) (Respiratory Medicine)</p>
<p>研究指導教員</p>	<p>峯下 昌道</p>
<p>研究・教育の概略</p>	<p>当科では呼吸器疾患全般を対象として、研究・教育を行なう。中でも呼吸器インターベンションの研究に力を入れており、悪性気道狭窄に対する治療として、硬性気管支鏡と軟性気管支鏡を組み合わせ用い、腫瘍の焼灼、バルーン拡張、気道ステントの留置などを行っており、適応や効果判定に関する臨床研究は今年度も継続していく。気道狭窄の治療前後におけるチョークポイントの移動に関する気道内圧の測定や局所肺の呼気中CO₂、O₂を用いた病態解析に関する研究も継続して行う。難治性気胸に関しては胸腔造影による診断と EWS 挿入および胸膜癒着による治療を行っており症例を集積している。さらにCOPDや気管支喘息の内視鏡的治療を昨年度より本格的に開始しており、この手技に関する臨床研究を推進する。肺癌の診断、治療に関しては豊富な臨床例に基づいて、画像診断、気管支鏡検査(ナビゲーションや超拡大内視鏡も含む)、化学療法などの研究、教育を行い、臨床治験にも積極的に参加する。気管支鏡検査の際に気管支腔内超音波検査を併用し、超音波データやエラストグラムの診断における有用性に関する研究を行っている。気管支腔内超音波検査法は肺癌のみならず、気管支結核や再発性多発軟骨炎などの病態把握のための研究にも活用している。これまで Vibration response imaging を用いた呼吸音に関する研究を行ってきたが、今後は得られた知見を参考に携帯型呼吸音解析装置の開発研究を進めていく。気管支喘息、および呼吸器感染症については豊富な臨床例に基づいて、その病態、診断法、治療法を教育する。</p>
<p>研究項目</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 呼吸器インターベンション 2. 気道内圧, および呼気中CO₂, O₂を用いた呼吸生理学的検討 3. 難治性気胸の治療 4. COPDの内視鏡的治療 5. 気管支喘息の内視鏡的治療 6. 肺癌の診断と治療 7. 気管支腔内超音波検査法 8. 呼吸生理と呼吸音解析
<p>準備学習(予習・復習)</p>	<p>事前に参考資料を読み、内容を確認すること。</p>

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(1)

講義コード	※	専攻分野	内科学(呼吸器内科)		
講義題目	呼吸器病態学		必修/選択	必修	
担当教員	峯下 昌道	担当教員連絡先	内線 80463		
単位数	1単位(前期1)	履修年次	1年		
テーマと目的	症例に基づいて基本的な呼吸器疾患の病態を理解する				
講義計画	種々の基本的な呼吸器疾患を症例を通して病態を理解し, 管理方法を検討する				
達成目標	1. 基本的な呼吸器疾患について病態を論理的に説明できる 2. 基本的な呼吸器疾患の病態に基づいた管理を計画できる				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読み、内容を確認すること。 1時間				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
講義内容					
前期(回)	内 容	(出席㊟)	後期(回)	内 容	(出席㊟)
1	閉塞性換気障害の病態		1		
2	拘束性換気障害の病態		2		
3	急性呼吸不全の病態1		3		
4	急性呼吸不全の病態2		4		
5	ARDSの病態1		5		
6	ARDSの病態2		6		
7	慢性呼吸不全の病態1		7		
8	慢性呼吸不全の病態2		8		
9	過換気症候群の病態		9		
10	肺胞低換気の病態		10		
11	肺循環障害の病態1		11		
12	肺循環障害の病態2		12		
13	無気肺の病態		13		
14	中枢気道狭窄の病態1		14		
15	中枢気道狭窄の病態2		15		

講義担当者承認 ㊟

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(2)

講義コード	※	専攻分野	内科学(呼吸器内科)	
講義題目	呼吸器内視鏡学 I		必修/選択	必修
担当教員	峯下 昌道	担当教員連絡先	内線 81545	
単位数	1単位(前期 1)	履修年次	1年	
テーマと目的	呼吸器内視鏡の実際を理解する			
講義計画	症例に基づいて、気管支鏡および flexi-rigid type 胸腔鏡の適応と実際を検討する			
達成目標	1. 気管支鏡検査について症例に基づいて計画を立てられる 2. flexi-rigid type 胸腔鏡検査について症例に基づいて計画を立てられる			
教科書・参考書	別途指示			
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読み、内容を確認すること。1時間			
成績評価法	出席と講義内での発表、受講態度による総合評価			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)
1	気管支鏡の歴史		1	
2	気管支鏡の適応と禁忌1		2	
3	気管支鏡の適応と禁忌2		3	
4	軟性気管支鏡の機器と準備1		4	
5	周辺機器1		5	
6	局所麻酔1		6	
7	気管支鏡の挿入と観察1		7	
8	気管支の解剖1		8	
9	気管支鏡所見—正常編1		9	
10	気管支鏡所見—異常編1		10	
11	気管支鏡所見—異常編2		11	
12	気管支鏡所見—異常編3		12	
13	胸腔鏡の歴史1		13	
14	flexi-rigid type 胸腔鏡の適応と禁忌1		14	
15	flexi-rigid type 胸腔鏡の機器と準備1		15	

講義担当者承認

◎

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(3)

講義コード	※	専攻分野	内科学(呼吸器内科)
講義題目	呼吸器内視鏡学Ⅱ		必修/選択 必修
担当教員	峯下 昌道	担当教員連絡先	内線 80484
単位数	1単位(後期1)	履修年次	1年
テーマと目的	呼吸器内視鏡の実際を理解する		
講義計画	症例に基づいて気管支鏡および flexi-rigid type 胸腔鏡の適応と実際を検討する		
達成目標	1. 気管支鏡検査について症例に基づいて計画を立てられる 2. flexi-rigid type 胸腔鏡検査について症例に基づいて計画を立てられる		
教科書・参考書	別途指示		
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読み、内容を確認すること。1時間		
成績評価法	出席と講義内での発表, 受講態度による総合評価		
講 義 内 容			
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回) 内 容 (出席◎)
1			1 経気管支的肺生検1
2			2 経気管支的肺生検2
3			3 経気管支的肺生検3
4			4 EBUS—中枢気道への応用1
5			5 EBUS—中枢気道への応用2
6			6 EBUS—中枢気道への応用3
7			7 EBUS—中枢気道への応用4
8			8 EBUS—末梢病変への応用1
9			9 EBUS—末梢病変への応用2
10			10 EBUS—末梢病変への応用3
11			11 EBUS—末梢病変への応用4
12			12 flexi-rigid type 胸腔鏡の手技1
13			13 胸腔鏡所見1
14			14 胸腔鏡所見2
15			15 胸腔鏡の合併症と対処法1

講義担当者承認 ◎

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(4)

講義コード	※	専攻分野	内科学(呼吸器内科)	
講義題目	呼吸器画像診断学 I		必修/選択	必修
担当教員	峯下 昌道	担当教員連絡先	内線 80463	
単位数	1単位(前期1)	履修年次	1年	
テーマと目的	呼吸器画像の読影に習熟する			
講義計画	症例を通じて胸部単純エックス線, 胸部CTの読影法を解説する			
達成目標	基本的な呼吸器疾患について胸部単純エックス線, 胸部CTを読影できる画像所見に基づいて, 鑑別診断を列挙できる			
教科書・参考書	別途指示			
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読み、内容を確認すること。1時間			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容
1	胸部単純エックス線—正常編		1	
2	胸部単純エックス線—浸潤影		2	
3	胸部単純エックス線—結節影		3	
4	胸部単純エックス線—びまん性陰影		4	
5	胸部単純エックス線—無気肺		5	
6	胸部単純エックス線—応用編1		6	
7	胸部単純エックス線—応用編2		7	
8	胸部CT—正常編		8	
9	胸部CT—GGO		9	
10	胸部CT—consolidation		10	
11	胸部CT—結節影		11	
12	胸部CT—びまん性陰影		12	
13	胸部CT—無気肺		13	
14	胸部CT—応用編1		14	
15	胸部CT—応用編2		15	

講義担当者承認 ◎

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(5)

講義コード	※	専攻分野	内科学(呼吸器内科)	
講義題目	呼吸器画像診断学Ⅱ		必修/選択	必修
担当教員	峯下 昌道	担当教員連絡先	内線 80463	
単位数	1単位(後期1)	履修年次	1年	
テーマと目的	呼吸器画像の読影に習熟する			
講義計画	症例を通じて胸部単純エックス線, 胸部CTの読影法を解説する			
達成目標	基本的な呼吸器疾患について胸部単純エックス線, 胸部CTを読影できる画像所見に基づいて, 鑑別診断を列挙できる			
教科書・参考書	別途指示			
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読み、内容を確認すること。1時間			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)
1			1	肺炎の画像診断1
2			2	肺炎の画像診断2
3			3	COPDの画像診断
4			4	胸膜炎, 膿胸の画像診断
5			5	間質性肺炎の画像診断1
6			6	間質性肺炎の画像診断2
7			7	サルコイドーシスの画像診断
8			8	肺胞蛋白症の画像診断
9			9	肺水腫の画像診断
10			10	肺癌の画像診断1
11			11	肺癌の画像診断2
12			12	縦隔リンパ節の読影
13			13	胸膜中皮腫の画像診断
14			14	PET
15			15	胸部MRI

講義担当者承認 ◎

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(6)

講義コード	※	専攻分野	内科学(呼吸器内科)		
講義題目	呼吸器病理と臨床各論 I		必修/選択	必修	
担当教員	駒瀬 裕子	担当教員連絡先	内線 78124		
単位数	2単位(前期 2)	履修年次	1年		
テーマと目的	症例に基づいて基本的な呼吸器疾患の病理と各種疾患の臨床を理解する				
講義計画	種々の基本的な呼吸器疾患症例を通して、その病理と臨床像を検討する				
達成目標	基本的な呼吸器疾患について病理を説明できる 基本的な呼吸器疾患の臨床像を説明できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読み、内容を確認すること。1時間				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
講義内容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1	気管支喘息の病理1		1		
2	気管支喘息の臨床1		2		
3	再発性多発軟骨炎の病理と臨床1		3		
4	Wegener肉芽腫症の病理と臨床 1		4		
5	特発性間質性肺炎の病理1		5		
6	特発性間質性肺炎の臨床1		6		
7	好酸球性肺炎の病理1		7		
8	好酸球性肺炎の臨床1		8		
9	過敏性肺臓炎の病理1		9		
10	過敏性肺臓炎の臨床1		10		
11	膠原病肺の病理1		11		
12	膠原病肺の臨床1		12		
13	サルコイドーシスの病理1		13		
14	サルコイドーシスの臨床1		14		
15	その他の間質性肺炎の病理と臨床1		15		

講義担当者承認

◎

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(7)

講義コード	※	専攻分野	内科学(呼吸器内科)		
講義題目	呼吸器病理と臨床各論Ⅱ		必修/選択	必修	
担当教員	峯下 昌道	担当教員連絡先	内線 80463		
単位数	2単位(後期2)	履修年次	1年		
テーマと目的	症例に基づいて基本的な呼吸器疾患の病理と各種疾患の臨床を理解する				
講義計画	種々の基本的な呼吸器疾患症例を通して、その病理と臨床像を検討する				
達成目標	基本的な呼吸器疾患について病理を説明できる 基本的な呼吸器疾患の臨床像を説明できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読み、内容を確認すること。1時間				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
講義内容					
前期(回)	内容	(出席④)	後期(回)	内容	(出席④)
1			1	肺腺癌の病理1	
2			2	肺腺癌の臨床1	
3			3	肺扁平上皮癌の病理1	
4			4	肺扁平上皮癌の臨床1	
5			5	小細胞肺癌の病理1	
6			6	小細胞肺癌の臨床1	
7			7	大細胞肺癌の病理1	
8			8	大細胞肺癌の臨床1	
9			9	細気管支肺胞上皮癌の病理と臨床1	
10			10	非小細胞肺癌の化学療法1	
11			11	小細胞肺癌の化学療法1	
12			12	転移性肺癌の病理1	
13			13	転移性肺癌の臨床1	
14			14	悪性胸膜中皮腫の病理1	
15			15	悪性胸膜中皮腫の臨床1	

講義担当者承認 ④

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(8)

講義コード	※	専攻分野	内科学(呼吸器内科)	
講義題目	呼吸器内視鏡実習 I		必修/選択	必修
担当教員	井上 健男	担当教員連絡先	内線 81307	
単位数	1単位(前期1)	履修年次	1年	
テーマと目的	気管支鏡の実技を習得する			
講義計画	気管支鏡の手技を実施する。			
達成目標	気管支鏡を用いて内視鏡的観察ができる。 経気管支肺生検ができる。			
教科書・参考書	別途指示			
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読み、内容を確認すること。1時間			
成績評価法	出席と実習態度, および手技の習熟度, 問題点の理解度による総合評価			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容
1	気管支鏡の挿入および観察手技1		1	
2	気管支鏡の挿入および観察手技2		2	
3	気管支命名法1		3	
4	気管支命名法2		4	
5	気管支鏡所見1		5	
6	気管支鏡所見2		6	
7	気管支鏡所見3		7	
8	気管支鏡所見4		8	
9	経気管支肺生検1		9	
10	経気管支肺生検2		10	
11	経気管支肺生検3		11	
12	ナビゲーション1		12	
13	ナビゲーション2		13	
14	EBUS-GS法1		14	
15	EBUS-GS法2		15	

講義担当者承認

◎

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(9)

講義コード	※	専攻分野	内科学(呼吸器内科)		
講義題目	呼吸器内視鏡実習Ⅱ		必修/選択	必修	
担当教員	井上 健男	担当教員連絡先	内線 81307		
単位数	1単位(後期1)	履修年次	1年		
テーマと目的	気管支鏡と flexi-rigid type 胸腔鏡の実技を習得する				
講義計画	気管支鏡の手技を実施する。 flexi-rigid type 胸腔鏡の手技を実施する。				
達成目標	気管支鏡を用いて内視鏡的観察ができる。 経気管支肺生検ができる。 flexi-rigid type 胸腔鏡を用いて観察と生検ができる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読み、内容を確認すること。 1時間				
成績評価法	出席と実習態度, および手技の習熟度, 問題点の理解度による総合評価				
講義内容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1			1	気管支鏡所見5	
2			2	気管支鏡所見6	
3			3	気管支鏡所見7	
4			4	EBUS-TBNA1	
5			5	EBUS-TBNA2	
6			6	EBUS-TBNA3	
7			7	蛍光気管支鏡1	
8			8	蛍光気管支鏡2	
9			9	NBI1	
10			10	NBI2	
11			11	flexi-rigid type 胸腔鏡の手技1	
12			12	flexi-rigid type 胸腔鏡の手技2	
13			13	胸腔鏡所見1	
14			14	胸腔鏡所見2	
15			15	胸腔鏡所見3	

講義担当者承認 (印)

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(10)

講義コード	※	専攻分野	内科学(呼吸器内科)		
講義題目	呼吸器内視鏡学Ⅲ		必修/選択	必修	
担当教員	半田 寛	担当教員連絡先	内線 80536		
単位数	1単位(前期1)	履修年次	2年		
テーマと目的	呼吸器内視鏡の実際を理解する				
講義計画	症例に基づいて、気管支鏡および flexi-rigid type 胸腔鏡の適応と実際を検討する				
達成目標	1. 気管支鏡検査について症例に基づいて計画を立てられる 2. flexi-rigid type 胸腔鏡検査について症例に基づいて計画を立てられる				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読み、内容を確認すること。1時間				
成績評価法	出席と講義内での発表, 受講態度による総合評価				
講義内容					
前期(回)	内 容	(出席⑩)	後期(回)	内 容	(出席⑩)
1	気管支鏡の歴史2		1		
2	気管支鏡の適応と禁忌3		2		
3	気管支鏡の適応と禁忌4		3		
4	軟性気管支鏡の機器と準備2		4		
5	周辺機器2		5		
6	局所麻酔2		6		
7	気管支鏡の挿入と観察2		7		
8	気管支の解剖2		8		
9	気管支鏡所見一正常編2		9		
10	気管支鏡所見一異常編4		10		
11	気管支鏡所見一異常編5		11		
12	気管支鏡所見一異常編6		12		
13	胸腔鏡の歴史2		13		
14	flexi-rigid type 胸腔鏡の適応と禁忌2		14		
15	flexi-rigid type 胸腔鏡の機器と準備2		15		

講義担当者承認 ⑩

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(11)

講義コード	※	専攻分野	内科学(呼吸器内科)	
講義題目	呼吸器内視鏡学IV		必修/選択	必修
担当教員	半田 寛	担当教員連絡先	内線 80536	
単位数	1単位(後期1)	履修年次	2年	
テーマと目的	呼吸器内視鏡の実際を理解する			
講義計画	症例に基づいて, 気管支鏡および flexi-rigid type 胸腔鏡の適応と実際を検討する			
達成目標	1. 気管支鏡検査について症例に基づいて計画を立てられる 2. flexi-rigid type 胸腔鏡検査について症例に基づいて計画を立てられる			
教科書・参考書	別途指示			
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読み、内容を確認すること。1時間			
成績評価法	出席と講義内での発表, 受講態度による総合評価			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)
1			1	経気管支的肺生検—ナビゲーション1
2			2	経気管支的肺生検—ナビゲーション2
3			3	経気管支的肺生検—ナビゲーション3
4			4	EBUS—TBNA1
5			5	EBUS—TBNA2
6			6	EBUS—TBNA3
7			7	蛍光気管支鏡1
8			8	蛍光気管支鏡2
9			9	NBI1
10			10	NBI2
11			11	気管支鏡の合併症と対処法2
12			12	flexi-rigid type 胸腔鏡の手技2
13			13	胸腔鏡所見3
14			14	胸腔鏡所見4
15			15	胸腔鏡の合併症と対処法2

講義担当者承認 ◎

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(12)

講義コード	※	専攻分野	内科学(呼吸器内科)		
講義題目	呼吸器病理と臨床各論Ⅲ		必修/選択	必修	
担当教員	峯下 昌道	担当教員連絡先	内線 80463		
単位数	2単位(前期2)	履修年次	2年		
テーマと目的	症例に基づいて基本的な呼吸器疾患の病理と各種疾患の臨床を理解する				
講義計画	種々の基本的な呼吸器疾患症例を通して、その病理と臨床像を検討する				
達成目標	基本的な呼吸器疾患について病理を説明できる 基本的な呼吸器疾患の臨床像を説明できる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読み、内容を確認すること。 1時間				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
講義内容					
前期(回)	内 容	(出席⑩)	後期(回)	内 容	(出席⑩)
1	気管支喘息の病理2		1		
2	気管支喘息の臨床2		2		
3	再発性多発軟骨炎の病理と臨床2		3		
4	Wegener肉芽腫症の病理と臨床2		4		
5	特発性間質性肺炎の病理2		5		
6	特発性間質性肺炎の臨床2		6		
7	好酸球性肺炎の病理2		7		
8	好酸球性肺炎の臨床2		8		
9	過敏性肺臓炎の病理2		9		
10	過敏性肺臓炎の臨床2		10		
11	膠原病肺の病理2		11		
12	膠原病肺の臨床2		12		
13	サルコイドーシスの病理2		13		
14	サルコイドーシスの臨床2		14		
15	その他の間質性肺炎の病理と臨床2		15		

講義担当者承認

⑩

学籍番号	
氏 名	

平成29年度講義シラバス(13)

講義コード	※	専攻分野	内科学(呼吸器内科)	
講義題目	呼吸器病理と臨床各論Ⅳ		必修/選択	必修
担当教員	古屋 直樹	担当教員連絡先	内線 80463	
単位数	2単位(後期2)	履修年次	2年	
テーマと目的	症例に基づいて基本的な呼吸器疾患の病理と各種疾患の臨床を理解する			
講義計画	種々の基本的な呼吸器疾患症例を通して、その病理と臨床像を検討する			
達成目標	基本的な呼吸器疾患について病理を説明できる 基本的な呼吸器疾患の臨床像を説明できる。			
教科書・参考書	別途指示			
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読み、内容を確認すること。1時間			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)
1			1	肺腺癌の病理2
2			2	肺腺癌の臨床2
3			3	肺扁平上皮癌の病理2
4			4	肺扁平上皮癌の臨床2
5			5	小細胞肺癌の病理2
6			6	小細胞肺癌の臨床2
7			7	大細胞肺癌の病理2
8			8	大細胞肺癌の臨床2
9			9	細気管支肺胞上皮癌の病理と臨床2
10			10	非小細胞肺癌の化学療法2
11			11	小細胞肺癌の化学療法2
12			12	転移性肺癌の病理2
13			13	転移性肺癌の臨床2
14			14	悪性胸膜中皮腫の病理2
15			15	悪性胸膜中皮腫の臨床

講義担当者承認 ◎

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(14)

講義コード	※	専攻分野	内科学(呼吸器内科)		
講義題目	呼吸器疾患特論 I		必修/選択	必修	
担当教員	西根 広樹	担当教員連絡先	内線 80484		
単位数	1単位(前期1)	履修年次	2年		
テーマと目的	個々の呼吸器疾患についてその臨床的特徴と問題点を理解する				
講義計画	臨床例を通して個々の呼吸器疾患の臨床的特徴と問題点を検討する				
達成目標	1. 個々の呼吸器疾患の臨床的特徴を説明できる 2. 個々の呼吸器疾患の問題点を列挙し、対応方法を説明できる				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読み、内容を確認すること。1時間				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
講義内容					
前期(回)	内容	(出席⑩)	後期(回)	内容	(出席⑩)
1	気管支拡張症		1		
2	嚢胞性肺疾患		2		
3	慢性閉塞性肺疾患1		3		
4	慢性閉塞性肺疾患2		4		
5	過換気症候群		5		
6	気管支喘息1		6		
7	気管支喘息2		7		
8	PIE症候群		8		
9	アレルギー性気管支肺アスペルギルス		9		
10	過敏性肺臓炎		10		
11	肺ヒストサイトーシスX		11		
12	膠原病に伴う肺疾患		12		
13	サルコイドーシス		13		
14	特発性間質性肺炎1		14		
15	特発性間質性肺炎2		15		

講義担当者承認

⑩

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(15)

講義コード	※	専攻分野	内科学(呼吸器内科)	
講義題目	呼吸器疾患特論Ⅱ		必修/選択	必修
担当教員	西根 広樹	担当教員連絡先	内線 80484	
単位数	1単位(後期1)	履修年次	2年	
テーマと目的	個々の呼吸器疾患についてその臨床的特徴と問題点を理解する			
講義計画	臨床例を通して個々の呼吸器疾患の臨床的特徴と問題点を検討する			
達成目標	1. 個々の呼吸器疾患の臨床的特徴を説明できる 2. 個々の呼吸器疾患の問題点を列挙し、対応方法を説明できる			
教科書・参考書	別途指示			
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読み、内容を確認すること。1時間			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)
1			1	薬剤性間質性肺炎
2			2	無気肺
3			3	ARDS
4			4	肺胞蛋白症
5			5	肺胞微石症
6			6	原発性肺癌—主要症候
7			7	原発性肺癌—診断
8			8	原発性肺癌—治療
9			9	転移性肺腫瘍
10			10	肺血栓, 塞栓症
11			11	自然気胸
12			12	胸膜炎, 膿胸
13			13	胸膜腫瘍
14			14	縦隔炎
15			15	縦隔腫瘍

講義担当者承認

◎

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(16)

講義コード	※	専攻分野	内科学(呼吸器内科)		
講義題目	呼吸器インターベンション実習 I		必修/選択	必修	
担当教員	半田 寛	担当教員連絡先	内線 80536		
単位数	1単位(前期1)	履修年次	2年		
テーマと目的	呼吸器インターベンションに関する基礎的手技を習得する				
講義計画	呼吸器インターベンション症例の基礎的手技を実施する				
達成目標	呼吸器インターベンション前後の問題点について説明し、対処できる適切な手技選択し、実施できる				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読み、内容を確認すること。1時間				
成績評価法	出席と実習態度、および手技の習熟度、問題点の理解度による総合評価				
講義内容					
前期(回)	内 容	(出席㊟)	後期(回)	内 容	(出席㊟)
1	呼吸器インターベンション適応と禁忌1		1		
2	呼吸器インターベンション適応と禁忌2		2		
3	硬性気管支鏡1		3		
4	硬性気管支鏡2		4		
5	気道狭窄の診断1		5		
6	気道狭窄の診断2		6		
7	気道ステントの種類と適応1		7		
8	気道ステントの種類と適応2		8		
9	気道ステント挿入の実際1		9		
10	気道ステント挿入の実際2		10		
11	気道異物1		11		
12	気道異物2		12		
13	APC焼灼1		13		
14	APC焼灼2		14		
15	バルーン拡張		15		

講義担当者承認

㊟

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(17)

講義コード	※	専攻分野	内科学(呼吸器内科)	
講義題目	呼吸器インターベンション実習Ⅱ		必修/選択	必修
担当教員	峯下 昌道	担当教員連絡先	内線 80463	
単位数	1単位(後期1)	履修年次	2年	
テーマと目的	呼吸器インターベンションに関する基礎的手技を習得する			
講義計画	呼吸器インターベンション症例の基礎的手技を実施する			
達成目標	呼吸器インターベンション前後の問題点について説明し、対処できる適切な手技選択し、実施できる			
教科書・参考書	別途指示			
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読み、内容を確認すること。1時間			
成績評価法	出席と実習態度、および手技の習熟度、問題点の理解度による総合評価			
講義内容				
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)
1			1	Nd-YAGレーザー
2			2	クライオセラピー
3			3	気道内圧測定1
4			4	気道内圧測定2
5			5	気道狭窄とチョークポイント1
6			6	気道狭窄とチョークポイント2
7			7	良性気道狭窄とインターベンション
8			8	悪性気道狭窄とインターベンション
9			9	食道気管瘻の治療法1
10			10	食道気管瘻の治療法2
11			11	呼吸器インターベンションの合併症1
12			12	呼吸器インターベンションの合併症2
13			13	COPDの内視鏡的治療1
14			14	COPDの内視鏡的治療2
15			15	気管支喘息の内視鏡的治療

講義担当者承認 ◎

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(18)

講義コード	※	専攻分野	内科学(呼吸器内科)		
講義題目	呼吸器腫瘍学		必修/選択	選択	
担当教員	古屋 直樹	担当教員連絡先	内線 80988		
単位数	2単位(前期1, 後期1)	履修年次	1年		
テーマと目的	呼吸器の腫瘍性疾患の臨床を理解する				
講義計画	原発性肺癌, 転移性肺癌, 悪性胸膜中皮腫の診断と治療を解説する				
達成目標	原発性肺癌, 転移性肺癌, 悪性胸膜中皮腫の診断と治療について説明できる				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読み、内容を確認すること。 1時間				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
講義内容					
前期(回)	内 容	(出席④)	後期(回)	内 容	(出席④)
1	非小細胞肺癌の診断1		1	転移性肺癌の診断1	
2	非小細胞肺癌の診断2		2	転移性肺癌の診断2	
3	非小細胞肺癌の診断3		3	転移性肺癌の診断3	
4	非小細胞肺癌の治療1		4	転移性肺癌の治療1	
5	非小細胞肺癌の治療2		5	転移性肺癌の治療2	
6	非小細胞肺癌の治療3		6	転移性肺癌の治療3	
7	非小細胞肺癌の治療4		7	転移性肺癌の治療4	
8	小細胞肺癌の診断1		8	悪性胸膜中皮腫の診断1	
9	小細胞肺癌の診断2		9	悪性胸膜中皮腫の診断2	
10	小細胞肺癌の診断3		10	悪性胸膜中皮腫の診断3	
11	小細胞肺癌の治療1		11	悪性胸膜中皮腫の治療1	
12	小細胞肺癌の治療2		12	悪性胸膜中皮腫の治療2	
13	小細胞肺癌の治療3		13	悪性胸膜中皮腫の治療3	
14	小細胞肺癌の治療4		14	悪性胸膜中皮腫の治療4	
15	化学療法の有害事象と対処法1		15	化学療法の有害事象と対処法2	

講義担当者承認

④

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(19)

講義コード	※	専攻分野	内科学(呼吸器内科)		
講義題目	呼吸器感染症学		必修/選択	選択	
担当教員	井上健男	担当教員連絡先	内線 81307		
単位数	2単位(前期1, 後期1)	履修年次	2年		
テーマと目的	呼吸器領域における感染症を理解する				
講義計画	呼吸器領域における感染症を解説する				
達成目標	呼吸器領域における感染症の診断, 治療, 感染拡大予防対策について説明できる				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読み、内容を確認すること。 1時間				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
講義内容					
前期(回)	内 容	(出席④)	後期(回)	内 容	(出席④)
1	細菌感染症の診断1		1	肺結核の治療1	
2	細菌感染症の診断2		2	肺結核の治療2	
3	細菌感染症の診断3		3	肺結核の治療3	
4	細菌感染症の治療1		4	マイコプラズマ感染症の診断1	
5	細菌感染症の治療2		5	マイコプラズマ感染症の診断2	
6	細菌感染症の治療3		6	マイコプラズマ感染症の治療1	
7	ウイルス感染症の診断1		7	マイコプラズマ感染症の治療2	
8	ウイルス感染症の診断2		8	クラミジア, リケッチア感染症の診断1	
9	ウイルス感染症の診断3		9	クラミジア, リケッチア感染症の診断2	
10	ウイルス感染症の治療1		10	クラミジア, リケッチア感染症の治療1	
11	ウイルス感染症の治療2		11	クラミジア, リケッチア感染症の治療2	
12	ウイルス感染症の治療3		12	非定型肺炎の診断1	
13	肺結核の診断1		13	非定型肺炎の診断2	
14	肺結核の診断2		14	非定型肺炎の治療1	
15	肺結核の診断3		15	非定型肺炎の治療2	

講義担当者承認

④

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(20)

講義コード	※	専攻分野	内科学(呼吸器内科)		
講義題目	呼吸音解析		必修/選択	選択	
担当教員	峯下昌道	担当教員連絡先	内線 80463		
単位数	1単位(前期1)	履修年次	2年		
テーマと目的	呼吸音解析に関する理解を深める				
講義計画	呼吸音解析とその臨床応用について解説する				
達成目標	Vibration Response Imagingを用いた呼吸音解析の原理, 臨床応用を理解し, 呼吸音解析の呼吸生理的評価について述べるができる。				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	事前に参考資料を読み、内容を確認すること。1時間				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
講義内容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1	呼吸音解析について		1		
2	Vibration Response Imaging (VRI)の原理		2		
3	VRI測定の実際		3		
4	健常人のVRI所見1		4		
5	健常人のVRI所見2		5		
6	気道インターベンションとVRI1		6		
7	気道インターベンションとVRI2		7		
8	気道インターベンションとVRI3		8		
9	COPDのVRI所見1		9		
10	COPDのVRI所見2		10		
11	COPD治療とVRI所見		11		
12	気管支喘息のVRI所見		12		
13	呼吸音解析と呼吸生理1		13		
14	呼吸音解析と呼吸生理2		14		
15	携帯型呼吸音解析装置の開発		15		

講義担当者承認

◎